

LIFE'S A JOURNEY

BIRD



EXOTIC
ASIA

新世界
ビールと旅する
（第二特集）

エキゾチック・アジア

特集

—民族衣装を纏う人びと—



勢いづく経済発展とともに、いま急成長を遂げるアジアのアートシーン。

自国の伝統や文化のルーツ、社会、歴史的背景をテーマとしながら、

独自の視点でアート表現へと昇華する注目のアーティストたちを一挙紹介！

text ARINA TSUKADA

《Tabled》2013, Courtesy of the artists and Tyler Rollins Fine Art



《水牛》(Kerbau) 2007, Courtesy of the artists and Tyler Rollins Fine Art

 MALAYSIA

Yee I-Lann

イー・イラン

溢れる群衆のパワーを引き寄せ

権力社会に一石を投じる

先住民族シノ・カザダン人の父とニュージーランド人の母との間に生まれたイランは、マレーシアの社会や歴史を俯瞰的に見つめる女性アーティストだ。4mにおよぶ巨大な写真作品《水牛》では、水牛をデモに参加する労働者になぞらえ、マレーシアの混沌とした路上を表現。一方、伝統的な陶器の技法を用いた《Tabled》は、マレーシアとインドネシアの路上で撮影した人びとの写真を器にトレイス。展覧会場ではこれらを時代の権力者たちが座るようなテーブルの上に配置し、権力・支配をイメージする空間に、今を生きる民衆の姿もち込んだ。





 TAIWAN

Michael Lin

マイケル・リン

伝統的なテキスタイルを
現代の建築空間にト雷斯

東京生まれ、台北育ちのマイケル・リンは、台湾や日本の伝統的なテキスタイルをモチーフに、空間や建築物の中で大胆なペインティングを施している。描く対象は美術館、カフェ、パブリックスペースの壁面や床のほか、インテリアやオブジェまで様々だ。320個のイスの集積によって構成された《Untitled Gathering》は、空間を鮮やかに変幻させるパワーに満ち、本来のテキスタイルの柄がもつイメージの強さを再構築している。建築的なアプローチから絵を描くリンは、伝統、文化、様式を超えて、人びとに親しみのある空間を創出する。

《Untitled Gathering》2008. Courtesy of the artist and The White Rabbit Collection, SydneyArt

